

資料 1. 事業別助成金総括表

(単位:千円)

		平成17年度助成金(実績)	平成17年度助成金(計画)	
共同助成事業				
(PNファンド)	国内調査研究助成	8件	7,120	
	国内活動助成	6件	4,140	
	国内長期事業助成	3件	5,690	
	海外助成	7件	8,050	
	計	24件	25,000	25,000
(ナショナル・トラスト)	国内活動助成	1件	6,000	12,000
	小計	25件	31,000	37,000
自主助成事業				
(有力保護団体助成)	国内調査研究助成	4件	6,000	
	国内活動助成	4件	4,000	
	海外助成	2件	2,000	
	計	10件	12,000	12,000
(直接助成)	国内調査研究助成	2件	2,200	
	国内活動助成	3件	8,000	
	計	5件	10,200	11,000
(委託助成)	自然環境GIS(SISPA)の構築と運営	1件	10,000	10,000
	小計	16件	32,200	33,000
	合計	41件	63,200	70,000

平成17年度(2005年)第16期プロ・ナトゥーラ・ファンド交付一覧

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
-----	-----	-----	-----	-----	-----

国内研究助成

(千円)

1	過去25年間の日光戦場ヶ原湿原周縁部における植生変化追跡	日光戦場ヶ原湿原植生変化追跡プロジェクト	福嶋 司 (東京農工大学 教授)	920	920
2	奄美諸島固有種オットンガエルの保全生態学的研究	奄美両生類研究会	亘 悠哉 (東京大学大学院 大学院生)	860	860
3	島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究	大橋川の汽水環境を調べる会	倉田 健悟 (島根大学 助教授)	1,000	1,000
4	分断景観におけるササの分布拡大が林床草本の多様性に与える影響	帯広孤立林研究グループ	紺野 康夫 (帯広畜産大学 助教授)	1,000	1,000
5	四国におけるアライグマの生息状況把握調査	特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター	谷地森 秀二 (四国自然史科学研究センター長)	800	800
6	放浪種ツヤオオズアリが在来アリ群集に及ぼす影響～海洋島における影響評価～	ツヤオオズアリ影響評価グループ	大西 一志 (琉球大学 COE研究員)	1,010	700
7	関東に生息するカワウの年齢構成および若齢個体の分散調査	NPO法人 バードリサーチ カワウプロジェクトチーム	加藤 ななえ (バードリサーチ カワウプロジェクトリーダー)	940	940
8	地域に根ざしたケラマジカの持続的保全 -島の子ども達とともに-	ケラマジカリサーチグループ	遠藤 晃 (佐賀大学 特定研究員)	1,190	900

国内研究助成 8件 小計 7,120

国内活動助成

1	「坊ガツル」(ラムサール条約新指定地)の自然環境の現況評価とオーバーユース対策	おおいた生物多様性保全センター	足立 高行 (大分県自然観察連絡協議会 代表)	940	600
2	淡水性のカメ類(在来種)の保護	和亀保護の会	西堀 智子 (梅花女子短期大学 非常勤講師)	480	480
3	国立公園大山蒜山地域における草原生態系の復元	晴れの国野生生物研究会	谷 幸三 (奈良県自然保護協会 事務局長)	970	800
4	住民参加型のシシ垣遺構調査と現代的意義を考える	シシ垣ネットワーク	高橋 春成 (奈良大学 教授)	850	650
5	幼児と自然ティーチャーズガイドの作成	幼児と自然ネットワーク	井上 美智子 (近畿福祉大学 助教授)	960	700
6	仙台産アカヒレタビラ个体群の保護増殖ならびに教育現場との連携による新規生息地の開発	宮城県淡水魚類研究会	棟方 有宗 (宮城教育大学 助教授)	910	910

国内活動助成 6件 小計 4,140

長期事業助成

1	中長期開門調査に向けた諫早湾干拓堤防周辺海域の採泥・採水調査	諫早湾保全生態学研究グループ	佐藤 慎一 (東北大学総合学術博物館 助手)	2,000	2,000
2	南大東島に隔離分布するダイウコノハズクの鳴き声を用いた個体識別と個体群動態の解明	ダイウコノハズク保全研究グループ	高木 昌興 (大阪市立大学大学院 講師)	1,840	1,690
3	サンルダム建設が天塩川水系における水環境と水生生物に与える影響の評価	天塩川の自然を考える会	宮田 修 (下川自然を考える会 事務局)	3,000	2,000

2 長期事業助成 3件 小計 5,690

海外助成

No.	テーマ	海外申請者	推薦者	申請額	内定額
1	スマトラ島における現生中大型哺乳類の分布現状およびその歴史的要因に関する調査研究	Amrir Bakar (インドネシア) 西スマトラ州アンダラス大学 講師	渡邊 邦夫 (京都大学霊長類研究所 教授)	1,200	1,200
2	アンデスに生育するプヤ・ライモンディ群落の復元	Mery Luz Suni (ペルー協和国) ペルー・サンマルコス大学 教授	増沢 武弘 (静岡大学 教授)	1,200	1,200
3	中国雲南省亜熱帯地域のMt.Ailao, Mt. Gaoligongにおける湿潤山地常緑広葉樹原生林の個体群構造、多様性および動態 ~保護への指針として~	唐勤(Tang Qin) 雲南大学 教授	北澤 哲弥 (東京都多摩環境事務所 自然保護員)	1,300	1,300
4	スリランカ南東部におけるオスのアジアゾウの行動と被害に関する研究	Mahinda Rupasinghe サバラガムワ大学 教授	長谷川 寿一 (東京大学 教授)	1,000	1,000
5	パラオ国ングレドゥ保全地区のマングローブ林の調査と普及啓発活動のための木道の設置	Ms. Alma Ridep-Morris (資源・開発省 プログラム・マネージャー)	馬場 繁幸 (琉球大学 教授)	1,300	1,300
6	野生オランウータン生息地における住民参加の森林パトロール活動と動態調査	Mr.Jphansyah Nasucha (キャンプ・カカップ現地責任者)	鈴木 晃 (日本・インドネシア・オランウータン保護調査委員会 代表)	1,000	1,000
7	コンゴ協和国オザラ国立公園北部における野生生物と人間の共存のための調査研究	萩原 幹子	小林 俊介 (アースウォッチ・ジャパン 事務局長)	1,050	1,050

海外助成 7件 小計 8,050

合計 24件 25,000

平成17年度(2005年)第1期ナショナル・トラスト交付一覧

(単位:千円)

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
1	トラスト地の購入および立ち上げの初期費用	NPO法人 阿蘇花野協会	瀬谷 愛一	6,000	6,000

平成17年度(2005年)第16期自主事業交付一覧

有力保護団体助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
国内調査研究助成 (千円)					
1	環宮崎平野照葉樹林における危機に瀕した群落の現況把握調査と保全・再生への取り組み	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長)	1,000	4,000
2	普天間飛行場代替施設建設計画問題対処のための辺野古サンゴ礁生態系自然環境調査			1,500	
3	泡瀬干潟自然環境調査			1,500	
4	鳥感染症ウイルスから希少鳥類を護るための基礎的研究	山階鳥類研究所	島津 久永 (財)山階鳥類研究所 理事長	2,000	2,000
4件 小計				6,000	

国内活動助成

1	(1)石垣島白保サンゴ礁における海洋環境モニタリング調査 (2005年度)	(財)世界自然保護基金 ジャパン	大内 照之 (財)世界自然保護基金 会長	1,400	4,000
2	(2)アジア太平洋ジュゴン保護ネットワークの設立とシンポジウムの開催			1,400	
3	(3)南西諸島周辺海域を回遊するクジラ・イルカ類の化学的環境調査			700	
4	(4)北方四島における自然保護活動支援 (2005年度)			500	
4件 小計				4,000	

海外活動助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	内定額
1	サハラ石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査研究・情報発信・提言活動	国際環境 NGO FoE Japan	岡崎 時春 NGO FoE Japan 代表理事	1,000	2,000
2	<生物多様性Hotspot保護①> ロシア沿海地方南西部の自然環境・希少生息地と東シベリア-太平洋石油パイプライン <生物多様性Hotspot保護②> ロシア沿海地方、ビキン川流域の自然環境と資源開発・森林開発の動向			1,000	
2件 小計				2,000	
合計 10件				12,000	

直接助成

国内調査研究助成

1	新石垣空港建設予定地及びその周辺の洞窟群に生息する絶滅危惧種コウモリの生息実態に関する学術調査	コウモリ類学術調査委員会	船越 公威 鹿児島国際大学 教授	1,270	1,200
2	三宅島の噴火被害地における生態系の保護と復元に向けた生態学的基礎研究（5年継続）（3年目）	三宅島自然研究グループ	上条 隆志（筑波大学農林学系 講師）	1,000	1,000
2件 小計					2,200

国内活動助成

1	長良川河口堰運用10年後の環境変化とそれが地域社会に及ぼした影響の解析	長良川河口堰問題研究会	田中 豊穂（中京大学教授）	5,000	5,000
2	ツシマヤマネコ絶滅回避のための国際ワークショップ	ツシマヤマネコPVA実行委員会	羽山 伸一（日本獣医畜産大学 助教授）	2,000	2,000
3	諫早湾干拓に関する原因裁定の検証と2006年市民版	諫早干潟緊急救済東京事務所	陣内 隆之 東京事務所	1,000	1,000
3件 小計					8,000
合計				5件	10,200

委託助成

1	戦略的自然保護のためのGIS（地理情報システム）を活用した基礎情報集約システムの構築	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿（財)日本自然保護協会 理事長)	10,000	10,000
合計				1件	10,000

助成金総額	総合計	41件	63,200
-------	-----	-----	--------

(プロ・ナトゥーラ・ファンド助成金額)	24件	25,000
(ナショナル・トラスト助成金額)	1件	6,000
(自主事業助成金額)	16件	32,200